

応募総数 601 件、総電力削減量 67,910kwh

第2回「アキュラ節電の匠コンテスト 冬」結果発表

電力削減部門 1位は、前年比 84%の削減を達成

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢俊哉)は、エコ住宅を推進する企業として多くの方に節電に対する認識を深め、様々な取り組みを広く共有したいという思いのもと、2012年の1月に「アキュラ節電の匠コンテスト 冬」を開催いたしました。その結果をご報告します。

※ 2011年8月に第1回目「アキュラ節電の匠コンテスト 夏」を実施しており、今回2回目のコンテスト開催となります。

「アキュラ節電の匠コンテスト 冬」は、国内にお住まいの方を対象に、昨年と今年2月の電気使用量を比較して削減率の高かった方3名を表彰する「電力削減部門」と、普段から節電・省エネに取組み創意工夫をしている方10名を表彰する「節電・省エネ部門」の2部門で募集を行いました。その結果601名の方からご応募いただき、様々な冬の節電アイデアが寄せられました。審査は「夏」のコンテストに引き続き、環境カウンセラーの片亀光氏に協力を仰ぎ決定しました。ご応募いただいた方の効果的な節電アイデアは当社ウェブサイト上でもご紹介しています。

(<http://www.aqura.co.jp/saveenergy/setsuden/results.html>)

■ 結果発表

「電力削減部門」1位は削減率 84%(636kwh→97kwh)、2位は 79%(294kwh→61kwh)、3位は 73%(172kwh→46kwh)。特に1位の方は電気料金約 13,000 円/月削減しています。応募いただいた方の削減率の平均は 21.9%と、今冬国より要請された削減率(関西 10%、九州5%以上)を大きく上回りました。総電力削減量は 67,910kwh、二酸化炭素排出量に換算すると 38.1t-CO₂の削減(※1)となります。平均世帯の 239 世帯分(1カ月)の消費電力量に相当。(※2)1世帯分の消費電力量で考えると、約 20 年分の消費電力量に相当します。※1 2009 年度の排出係数代替値 0.561kg-CO₂/kWh(出典:環境省)を用いて計算 ※2 2009 年度平均世帯消費電力量 283.6kWh/月(出典:電気事業連合会データ)

「節電・省エネ部門」では、普段から節電に取組まれ大幅に電力消費が少なく、創意工夫により節電・省エネに効果のあった方を評価しています。節電方法は、「家電の使い方の工夫」が最も多く、次に「暮らし方の工夫」、「料理の工夫」が挙げられました。節電の取組み項目数が多い方が削減率はより大きい結果となりました。今回のコンテストでは、冬の節電対策について納得のアイデアからユニークなアイデアまで数多くお寄せいただき、一般家庭の節電に対する関心の高さが伺えました。

※ 2 頁以降に具体的な節電方法を掲載しています

今夏も節電が叫ばれています。しいては当データと昨夏に実施しました「アキュラ節電の匠コンテスト夏」の結果(<http://www.aqura.co.jp/saveenergy/torikumi.html>)を併せ、今夏の節電にお役立てください。

アキュラホームでは、「エコ住宅こそ、みんなに。」をエコ・コンセプトに、設備だけでなく自然エネルギーを利用した設計や先人の知恵を踏まえた暮らし方の工夫など、様々な角度からの快適なエコ住宅を目指して取り組んでいます。また、エコ仕様の住宅を建てるだけでなく、住まい手に「暮らし方」をご提案し、楽しみながら共にエコ暮らしに取り組んでいただけるようサポートしています。今回寄せられた節電アイデアは今後の商品開発に活かしてまいります。

<報道関係からのお問い合わせ>

株式会社アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email : horikosi@aqura.co.jp

住所 : 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL : 03-6302-5010 (直通) FAX : 03-5909-5560

■ 特別審査員 片亀光氏の総合評価

601 件の応募の中から、一次審査を通過した 76 件を対象に二次審査を行い、節電・省エネ匠賞 10 件を選考しました。電力削減賞は数値で一義的に決定しましたが、節電・省エネ匠賞は数値だけでなく取組み内容の独創性や家族の協力などの要素も加味して評価しました。特に上位 30 件には共通する要素も多く、評価点も僅差でぎりぎりまで苦勞しました。その中でも、応募者の熱意や独創性溢れる取組み、家族の理解と協力などが伺える取組みを評価して最終順位を決定しました。

片亀 光(かたかめ ひかる) 環境カウンセラー、㈱環境評価機構代表。講演活動を中心に企業の環境マネジメントシステム構築のアドバイス、一般市民対象の環境セミナーなどに携わる。テレビの節電企画など多数出演。



応募者が取組んだ節電対策への片亀氏コメント

・ 暖房対策

家族が一緒に過ごす、窓の断熱性を高める、ゆたんぼを活用する、ウォームビズを取り入れる、外出する等の取組みが目立ちました。上位の方では、さらに拭き掃除やエクササイズなどの行動や飲食物などで身体を温める工夫が目を引きました。惜しくも入賞は逃しましたが、「家まるごと温室」という取組みも印象的でした。エアコンを減らすためにホットカーペット等のヒーター加熱器具を使うことはむしろ節電に逆行することもありますので、ご注意ください。

・ 給湯・調理の工夫

風呂の追い炊きを減らすために続けて入浴、炊飯器や電気ポットの保温をやめる等の取組みが目立ちました。上位の方では、さらに保温調理や圧力鍋・土鍋の活用、自然解凍、同時調理、給湯温度を下げる等の工夫が目を引きました。シャワーヘッドや蛇口などに節水器具を取り付けると節水だけでなく加熱用エネルギーの節約にもなりますのでお奨めです。

・ 照明の工夫

こまめな消灯、早寝早起き、昼光利用、LED 等の導入等の取組みが目立ちました。上位の方では、さらに全体照明と部分照明の使い分け、ソーラーライト・センサーライト・調光器具の導入、ろうそくの活用などが目を引きました。ろうそくは防火に気をつけてご使用ください。

・ 家事の工夫

冷蔵庫の開閉を減らす工夫、洗濯機・食洗器等のまとめ洗い等の取組みが目立ちました。上位の方では、さらに掃除機の使用を控える工夫(ほうき・モップ・雑巾の活用)、ヘアードライヤーの使用を控える工夫(吸水性タオルなど)などが目を引きました。アイロンも含め、まとめることで回数を減らすことは効果が大きいですね。

・ その他

待機電力オフ、テレビ時間短縮、最新家電への買い替え、温水洗浄便座の使用法改善等の取組みが目立ちました。上位の方では、さらに電力使用状況のチェック、契約電力を下げる、テレビやパソコンの省エネモード設定、ラジオや絵本などでテレビを見ないなどの取組みが目を引きました。

■ 節電の工夫別集計



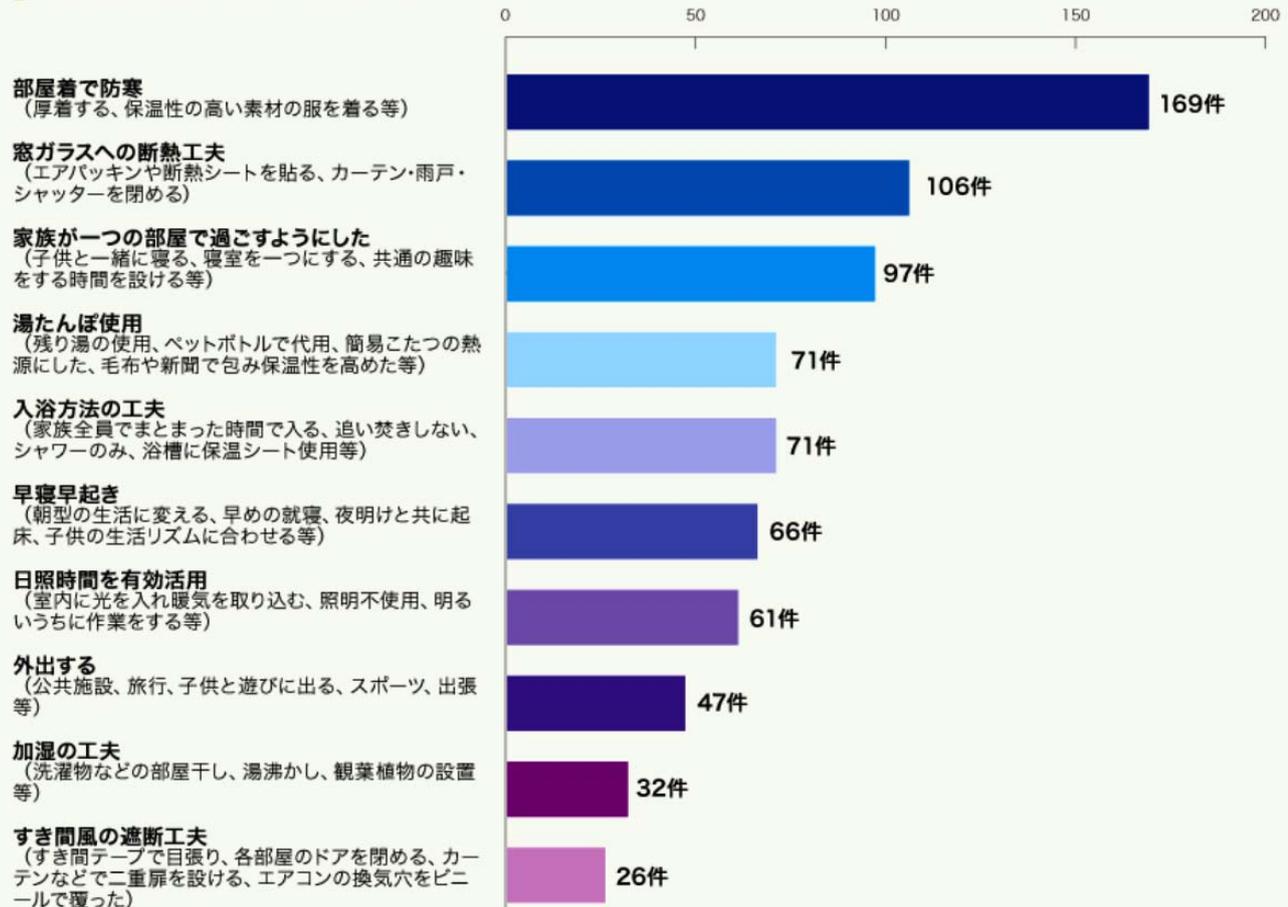
■ 実施項目数別削減率

実施項目数	削減率	世帯数
10以上	27.5%	37
9~8	25.8%	55
7~6	23.7%	107
5~4	23.5%	165
3~2	20.7%	182
1	19.0%	30

■ 家電の使い方の工夫 トップ10



■ 暮らし方の工夫 トップ10



■ アキュラ節電の匠コンテスト 冬 概要

- コンテスト名 : アキュラ節電の匠コンテスト 冬
 参加対象 : 国内にお住まいの方ならどなたでも ※但し 2010 年 12 月末時点で現在の家に住んでいるご家庭
 実施期間 : 2012 年 2 月分の電気使用量
 応募総数 : 601 件 平均世帯削減率 21.9%
 表彰・審査方法 : ◎冬の節電・省エネ匠賞 グランプリ(1名)商品券3万円分 準グランプリ(2名)商品券2万円分
 4位～7位(各1名)商品券1万円分 8位～10位(各1名)商品券5千円／大幅に電力消費量が少なく、創意工夫により節電・省エネに効果のあった方
 ◎冬の電力削減賞 1位(1名)エコグッズ3万円相当 2位(1名)2万円相当 3位(1名)1万円相当
 ／当月と昨年同月の電気使用量を比較し、その差の比率(削減率)で算出した上位の方
 ◎冬の節電貢献賞 クオカード500円分／電力削減率10%を達成された方全員

参考資料

■ 2011 年夏に開催した第1回「アキュラ節電の匠コンテスト 夏」

<ご応募いただいた 916 件の総電力削減量は 127,712kWh>

二酸化炭素排出量に換算すると 71.7t-CO₂ の削減となります。総電力削減量は、平均世帯の 450 世帯分(1カ月)の消費電力量に相当。1世帯分の消費電力量で考えると、37.5 年分の消費電力量に相当します。

寄せられた個性的な節電アイデア一例

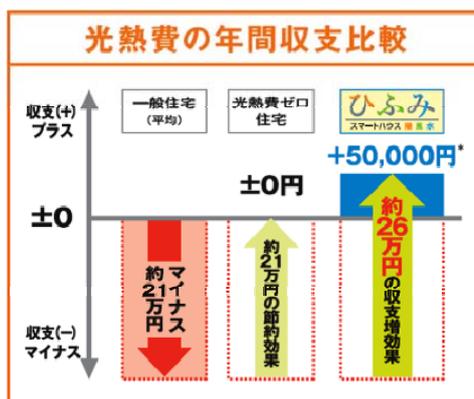
- ・ 毎日の消費電力量をグラフにして見える化し、家族皆の節電意識を高めた
- ・ 照明が必要ない明るい時間帯に家族と一緒に入浴をして、時間短縮と使用電力の削減を図った
- ・ リビングのテーブルの下に水を入れた桶を用意し、足を入れて体感温度が低くなるように工夫した
- ・ 家族でダイエットに取組み体脂肪率を減らすことで、熱量を削減した

■ アキュラホーム商品 —光熱費収支年間 5 万円の家 自然の恵みを活かしたスマートハウス「ひふみ」—



スマートハウス「ひふみ」外観イメージ

「ひふみ」は次世代省エネ基準のエコ住宅に創エネ設備とHEMS ※を搭載した「スマートハウス」の展開に加えて、自然利用のエコ設計手法、震災時などに役立つ「井戸」の提案も含めています。エコ住宅とスマートハウスを融合した「ひふみ」は、太陽光発電システムで発電した電気を賢く使い、余剰電力を売電する仕組みで通常かかる光熱費をゼロにするばかりか、年間収支でプラス 5 万円稼ぐことができます。また、「エコ得光熱費シミュレーション&エコ得家電診断」を行い、住まい手が無理をせずに快適なエコ生活を送れるようサポートしていきます。
※家庭用エネルギー管理システム



特徴1. エネルギー利用を最適化することで光熱費収支年間プラス 5 万円
 自然を活かしながら快適に暮らすエコ機能を備えた次世代省エネ基準のエコ住宅に、太陽光発電システム、オール電化、LED基本照明を搭載することによって光熱費収支年間5万円プラスを可能にしました。

特徴2. 「陽」「風」「水」利用

自然の恵み、「陽(ひ)」「風(ふ)」「水(み)」を活かすスマートハウスとして「ひふみ」と名付けました。

これまでジャブネットが採用してきた「陽」(日射遮蔽・日射熱利用)と「風」(自然風利用)に加え、ひふみは「水」(井戸)を取り入れています。井戸水は、断水時の非常用水として利用できるだけでなく、平常時においても庭の草木への水遣り、夏の打ち水など節水に寄与します。



井戸設置イメージ